

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

大北地域では、雪は無くしてはならない資源だが、雪は時として鋭い牙をむく事もある。歌手の新沼謙治さんの「津軽恋女」で、津軽

には、こな雪、つぶ雪、わた雪、ざらめ雪、みず雪、かた雪、春待つ氷雪の七つの雪が降ると歌う。この冬は、雪国で暮らす生活を楽しめる雪質を期待したいものだ。

英国の博愛主義者のチャールズ・バクストンは「何をすることも時間は見つからないだろう。時間がほしければ自分でつくることだ」と説き、米国の人気作家のステイーブン・キングは「いいアイデアはどこからともなく湧いてくるものだ」と。この一年、ふと目の前に現れたアイデアを、気づく事が出来たのだ

ろつか。歳を重ねる毎に、仕事、趣味、家族、生活は、今までの延長線だ。平均寿命は延びても健康で自由に動きまわれる時間は限られてくる。その中で、何に重点を置いて、人や社会とつながりながら

地域の為に歩めるのかが問われている。美術家の赤瀬川源平さんの「優柔不断術」で日本人の「問題先送り」は世界に誇る文化で、特に農耕社会では、角の立つ問題は棚上げして無用の争いを避けて、

時が解決するのを待つと説いた。12月3日に白馬高校の生徒3人が「気候非常事態宣言」を求め住民の署名を添えて白馬村長に手渡した。翌日の白馬村議会の冒頭あ

地球温暖化対策に取組む意思表示として「気候非常事態宣言」を出した。気候変動は地域にとっても深刻な脅威とし、村民とともに行動を起こさなければならぬとして、再生可能エネルギーへの転換

や温暖効果ガスの削減に取り組み積極的な意思を出した。これまでの取り組みから一歩踏み出した取り組みを大いに期待したい。一人一人の意識や行動をどの様に示して行けるのか。「気候非常

信され、今後の取り組みに注目が集まるのは確実だ。その中心となる行政の取り組みが大切だ。地域住民に具体的な取り組みを自らの行動で示す事が求められるのだ。小さな取り組みの積み重ねは何なの

地球温暖化などの気候変動の取組みは地域の課題だ

事態宣言は、ネット情報は多岐面に情報発信

か。石化燃料による暖房での室内温度はどうあるべきか。車社会の中での公用車使用や、職員通勤での車使用の在り方。室内公務中の

服装の在り方など、できる事、すべき事を理解しての宣言であったと信じたい。(信州地域社会フオーラム会員・白馬村森上)

「できる人が、できる時に、できることをやる」という想いを大切にしているため、入会・脱会等の決まりはなく、イベントなどには誰でも自由に参加いただけます。

文化祭で掲示された「できる人が、できる時に、できる事をやる」この想いが大切だ